

ふじた

特集 2018年1月OPEN(予定)
新B棟工事進捗報告
work visit
Fujita Medical Expert
Information



F U J I T A H E A L T H U N I V E R S I T Y H O S P I T A L

特集

2018年1月OPEN(予定) 新B棟工事進捗報告



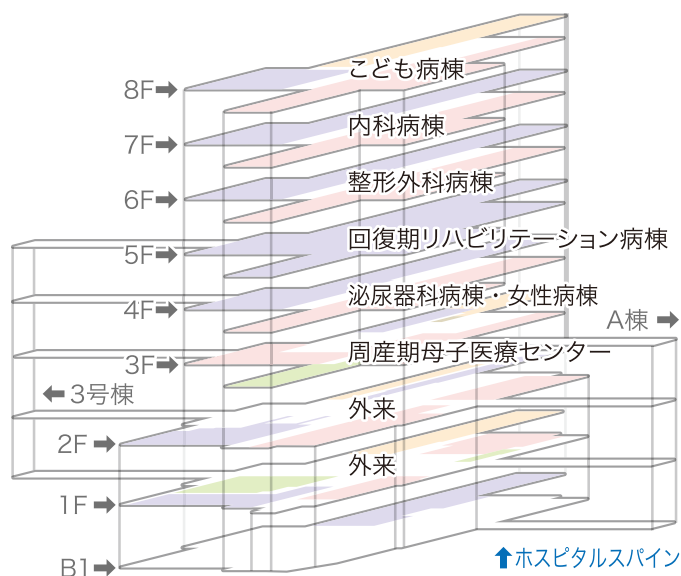
新B棟完成予定図(正面より)



2016年7月には建物を支える
防震ゴムも設置されました。



新B棟フロアマップ(予定)



2016年1月21日に安全祈願祭を行い、着工からはや10か月が経った新B棟の建築工事が2018年1月のオープンをめざし着々と進行中です。11月現在、駐車スペース(予定)の土地にあった医療科学部6号館も完全に更地になり、新B棟部分はすでに基礎工事を終え、新耐震基準に対応した防震層の上に鉄骨の建て方工事(柱や梁などが施工される工事)が行われております。ご来院並びに入院中のみなさまには工事により大変ご不便をおかけしておりますが、引き続きご理解とご協力賜りますようお願いいたします。

地下1階から地上8階の全9フロアで構成

2018年1月OPEN予定の新B棟には、国際医療センター(地下1階)、MFICU(母体胎児集中治療室)9床、NICU(新生児集中治療室)12床、GCU(新生児回復期治療室)18床などを増床し、周産期母子医療センターとしての認定基準に合わせた産科病棟(3階)、ロボットなど最先端医療機器を備え、高度な医療を行う回復期リハビリテーション病棟(5階)を予定しています。最上階にはこどもの療養アメニティを向上させた、こども病棟が整備されます。

A棟へ繋がるホスピタルスパイン

1階の受付付近は吹き抜けになっており、開放感を演出。また1-2階はA棟同様エスカレーターで繋ぎ、2階ホスピタルスパインの開放感にも一役買っています。患者さまの導線はA棟からのホスピタルスパイン(A棟約130メートル・B棟約80メートル/直線で全長約210メートル)に繋がることで、シンプルな構造となり、立体駐車場からの距離も近くなり、全体の一体感が生まれます。

小児科付近にはプレイコーナーを広く設置

外来をお待ちのお子さまに安心して遊んでいただける広いスペースを確保しました。通路部分は「ホスピタルパサージュ」と命名し、中央を挟んで各外来が見渡せるつくりとなっています。

災害拠点病院として

新B棟の竣工により藤田保健衛生大学病院全体の、新耐震基準(およそ震度6強から震度7程度を想定し、建物の構造に損害がないもの)を満たした災害に強い施設づくりが完了します。愛知県県の基幹となる災害拠点病院としての基盤がより強固になり、有事の際にも医療を届けることができる病院として確立されることとなります。



放射線腫瘍科 放射線腫瘍科とはどのような診療科ですか？

放射線腫瘍科は、放射線を用いてあらゆる腫瘍を治療します。全国的にも放射線治療専門医は不足していますが、当科では2名の放射線治療専門医が治療にあたります。この数年、放射線治療機器とコンピュータの進歩は著しいものがあります。当院で2台の最新鋭の高精度治療装置が導入されています（ノバリス、トゥルービーム）。これらの装置でピンポイントに1mm以内の誤差で腫瘍に照射、定位照射やIMRT（強度変調照射）が可能です。このように放射線を腫瘍に集中させることで、副作用は少なくなり、非侵襲性で体の負担もかなり軽減されてきています。放射線治療は医師のみならず、治療機器を専門に扱う放射線治療専門技士、物理士と患者さまの治療中の状態を把握し看護するがん放射線治療法看護の



認定看護師がチームとなり治療にあたりますので安心して治療がうけられます。

◀放射線治療は治療専門医、治療専門技士、物理士と認定看護師がチームで治療にあたります。



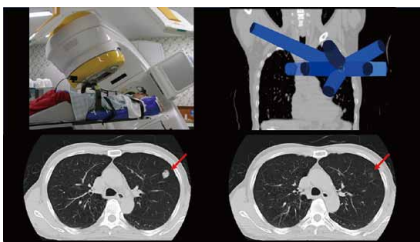
放射線腫瘍科教授
林 真也

プロフィール

昭和63年広島大学卒業。日本医学放射線学会放射線治療専門医。日本放射線腫瘍学会認定医、代議員。体幹部定位照射での臨床応用を中部地方で先駆けて開始。高齢者に対しての負担ない放射線照射法の開発に取り組んでいる。

PICK UP 増加するがん患者

高齢者のがんが増加しています。日本人の2人に1人ががんになる時代とわれています。特に前立腺がん、肺がんの増加があります。前立腺がんは小線源治療あるいは外部照射IMRTの治療で手術と同等の成績です。手術困難な早期肺がんにおいては、ピンポイント照射（定位照射）を用い治療すると、体の負担や副作用も少なく、また治りもほぼ手術に匹敵します。がんの種類や状態によっては抗がん剤を併用することもあります。



肺がんのピンポイント照射の実際

呼吸の状態をみながら安静位で照射。照射は痛みもなく外来通院照射可能。放射線は1mm以内の誤差で3D（3次元）的に多方向から照射し線量を集中させます。

◀肺がんの照射前と照射後1年のCT画像。がんは消滅し、副作用も全くない。

治療について

ピンポイント照射（定位照射）は1mm以内でがんを狙い撃ち。4cm以内で末梢にある肺がんは4回の治療で約90%の局所制御です。治療は外来通院での照射、仕事をしながらでも可能です。体の負担も少なく、痛みもなく手術の難しい場合や高齢者にとってもやさしい治療です。90歳以上の患者さまでも安心して治療できます。特に早期の肺がんの定位放射線治療の成績は手術に匹敵します。定位照射は肺がん以外に肝臓がん、脳腫瘍、頭頸部がんなどが適応とされます。また放射線の強さを変化させて腫瘍に照射、正常組織の照射線量を減じるIMRT（強度変調照射）は、前立腺がん、脳腫瘍や頭頸部がんに適応とされます。当院では全例、IGRTという画像誘導放射線治療を用い照射の位置精度を担保し、確実に腫瘍に照射して副作用の低減に努めております。

管理栄養士とは？

私たち管理栄養士は、国家資格を有した栄養と食事の専門職です。病院においては、病気の治療、再発防止、合併症の予防を目指し、患者さま一人ひとりの身体状況、病態に合わせた食事提供を行い、栄養指導などを通して治療をサポートするスタッフとして働いています。

当院における主な仕事

① 給食管理業務（献立作成、衛生管理など）

糖尿病食や腎臓病食、消化管機能が低下した方への食事など、様々な病態に合わせた治療食の献立作成を行っています。また、試作を繰り返しながら季節料理や行事食など新メニューの開発や、患者さまから頂いたアンケート調査の結果をもとに、食事の質の向上を目指した取り組みを行っています。食事は治療のひとつであり、衛生管理には細心の注意を払いながら「安全でおいしい食事」の実現に向け努力しています。

② 栄養管理業務（栄養指導など）

現在、当院の管理栄養士は20名（パート4名含む）在籍し、それぞれ担当の病棟を受け持っています。糖尿病や腎臓病などの食事療法を必要とする患者さまの他、抗がん剤治療や手術などの影響で食事量が低下した方に、入院・外来で栄養指導を行っています。



他職種との関わり・連携などについて

NST (Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム)、緩和ケアチームや摂食嚥下チーム、褥瘡対策チーム、糖尿病透析予防チームなどでチーム医療の一員として活動しています。管理栄養士は医師、看護師、薬剤師などの他職種と連携をとりながら、食べやすい食事形態の工夫や量の調整、在宅における食生活のアドバイスなど、病院食だけでなく在宅療養に向けてのサポートも行っています。

当院での特徴



当院では1日平均2858食（平成27年度）の治療食を提供しています。NST、病棟担当管理栄養士、調理師が連携を行い、患者さまの栄養状態の維持改善に努めています。また、平成27年度6月からは新調理法「アドバンスト ニュークックチルシステム」を導入しました。この調理法では、加熱後の料理を90分以内に3℃以下に急速冷却して保存し、冷たい状態のまま盛り付けを行い、患者さま一人ひとりの食器をトレイに準備します。トレイをニュークックチル用の配膳車にセットしておくと、患者さまにお届けする直前にタイマーによる最終加熱が行われ、召し上がる直前に料理が完成するシステムです。この調理法により、調理から配食までの徹底した温度管理を行うことができ、温かいものは温かく、冷たいものは冷たい状態で安全に食事を提供することが可能となりました。

患者さまへのメッセージ

管理栄養士が入院中や在宅での栄養や食事に関するご相談をお受けしています。糖尿病や腎臓病などの慢性疾患、がん、咀嚼や飲み込み機能等の低下がみられる患者さまの食事療法について行います。今後も、栄養と食事に関わる専門家として、常に最新の調理方法や栄養管理についての情報収集に努め、他職種と協力して患者さまの療養に携わっていきたいと考えています。



自動再来受付機の開始時間変更のお知らせ

【開始日】平成29年1月4日(水)より
 〔変更前〕午前7:00 受付開始 → 〔変更後〕午前7:30 受付開始

何卒ご理解
 いただきますよう
 お願い致します。

「患者さま向けがんセミナー」

会場：藤田保健衛生大学病院外来棟4階403

12/13(火)	11:00~12:00	肝がんの外科的治療と重篤化予防
1/12(木)	11:00~12:00	感がんの予防・診断・治療

「市民公開講座」

会場：藤田保健衛生大学病院外来棟4階403

12/7(水)	13:30~14:30	ロボットでリハビリが変わる?~活動支援ロボットの現在とこれから~
12/15(木)	13:30~14:30	受ける?受けない?遺伝子検査

「いこいの広場コンサート」

会場：藤田保健衛生大学病院内1階ロビーいこいの広場

12/17(土)	14:00~15:10	藤田保健衛生大学学生と教職員とともに
1/21(土)	14:00~15:10	ハーブとウクレレ・フラダンスとマンドリンとともに

詳細については、院内掲示ポスターにてご確認ください

クリスマスチャリティーコンサート

12/10(土) 13:30~14:30

会場：藤田保健衛生大学病院内1階ロビーいこいの広場

今年も実力派ジャズ・シンガーのケン・ヴァルデイスさんと
 人気ミュージックナビゲーターであるジェームス・ヘイブンスさん
 をお招きし、チャリティーコンサートを開催いたします。

病院機能評価「機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.1」及び「副機能:精神科病院」の認定

当院は、平成28年6月3日付にて日本医療機能評価機構による病院機能評価「機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.1」を継続受審し、3回目の更新が認定されました。また、「副機能:精神科病院」も認定されました。

これは、患者さまの目線から安心・安全の医療が行われているかを厳しく評価するものです。高い評価を受けたことに慢心せず、今後も患者さまにとって良い医療を提供し続けるべく努力いたします。 病院長



がん患者さま・肝臓病患者さまの「仕事に関する相談会」のご案内

働く世代のがん患者さま・肝臓病患者さまとご家族に対して仕事に関する相談を受けています。たとえば、

- 会社の上司や同僚に病名や病状をどこまで話せばいいのか?
- 仕事と治療の両立はできるのだろうか?
- 退職したら健康保険や生活費はどうなるか?

などといったご相談のある方は、相談会にお申込みください。

愛知県社会保険労務士会所属の社会保険労務士と当院社会福祉士・看護師がご相談をお受けいたします。



開催日 毎月第1金曜日 11:00~13:00 場所 A棟2階外来薬物療法センター内

事前の予約が必要です。当院の患者さま、ご家族に限りません。

連絡先 がん相談支援センター 社会福祉士 TEL. 0562-93-2284
 肝疾患相談室 看護師 TEL. 0562-93-2279

相談費用 無料

相談時間 40分程度